

行目 [診療画像検査法] 歯・顎顔面検査法 正誤表

ページ・位置	誤	正
8・右18行目		/360
25・左17行目	画像低下	画質低下
左21, 22行目	処理液 ~ 和紙と	[削除]
右26行目	感度範囲とは,	感度は,
26・表3.1	84.0未満	112.0未満
28・表3.3	ローラー	縦(方向)移行
31・図3.16	比露光量 [logH]	照射線量の対数
右19, 20行目	フィルムベースの ~ 濃度と,	[削除]
右21行目	を加算したものをいう。図では	である。図でフィルムベース濃度 + カブリ濃度は,
右24, 25行目	被写体コントラスト	階調度
33・図3.19	解像力	鮮鋭度
36・図4.1 右	alveolaris	alveolar
47・図4.28 d 右	上顎洞底線 floor	上顎洞の前縁 anterior border
75・右2行目	垂体	錐体
76・左2行目	垂体	錐体
図4.58 d 右	蝶形骨稜 sphenoidal ridges inferior meatus nose	蝶形骨小翼 lesser wing of sphenoid bone inferior meatus of nose
77・左2行目	垂体	錐体
81・図4.65 d	内極側	内側極
82・左4行目	外側部	外側部の
85・図4.69 f	cervical vertebrae	cervical vertebra
89・図4.72 g	Ar : ~ 後頭・骨基底	Ar : ~ 後頭骨基底部
90・図4.74 b 左	腸骨窩 iliac bone	腸骨窩 iliac fossa
91・右1行目	antorography	antrography
右22行目	漿液性	粘性
93・左20行目	1.5 ~ 2.0	1.0 ~ 1.5
右10行目	導管	[削除]
94・左31行目	突起	頭
95・図4.81	D : articular	D : articular
98・左3行目	溢(おう)	溢(いっ)
99・図4.84 c, d	咽腔期	咽頭期
左2行目	咽頭蓋谷	喉頭蓋谷
103・19行目	下顎	下顎
107・左21行目	CT,	CTまたは
左23行目	CT)	CT)と呼ばれる
112・式5-4	log	log _e
125・図6.4	されているが,	され,
143・左20, 22行目	MRI	MR
右11行目	反磁性体へ	反磁性体にはBi, Cu, Ag, Au, H ₂ , H ₂ Oなどがあり, 強力な磁界中に置いたとき, 磁界
145・8.1.1 図左	ローゼンミュラー管	ローゼンミュラー窩
148・左14行目	異形性症	異形成症
左16行目	唾液線	唾液腺
156・左16行目	Tempolonand ibular	Temporomandibular
161・右7行目	fow	flow
171・図10.10	骨シンチ	⁶⁷ Gaシンチ
201・図1		
204・8行目	[横断像] 左側	[横断像] 右側
206・4, 6, 17, 19, 21, 24行目	右側	左側
209・19行目	右側	左側
212・22行目	腫瘍に	腫脹に
217・図4	(>)	(⇄)
246・23行目	パノラマ撮影は	パノラマ撮影
256・29行目	非イオン性水溶液	非イオン性の水溶性
274・3行目	顎下部口底部	顎下部
15行目	微慢性	び慢性
279・図3	>	[3か所とも削除]
306・7行目	不定咬合	不正咬合
322・図1		
343・41行目	イメージングプレート (IP)	CCDセンサー